

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日  
上場取引所 東

上場会社名 極東貿易株式会社  
 コード番号 8093 URL http://www.kbk.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 義也  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 薫 (TEL) 03-3244-3558  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,964	△7.0	△86	—	35	△79.1	3	△96.2
2020年3月期第1四半期	13,938	5.4	△1	—	168	△38.6	98	64.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △177百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 144百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.61	—
2020年3月期第1四半期	15.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	44,253	21,594	48.8	3,521.01
2020年3月期	47,886	22,139	46.2	3,609.91

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 21,594百万円 2020年3月期 22,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 2021年3月期の期末配当予想に関しましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響を合理的に算定することが困難なことから未定とし、業績予想の開示が可能になった段階で改めて開示させていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー 社 (社名) ー 除外 ー 社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,495,918株	2020年3月期	6,495,918株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	362,925株	2020年3月期	362,896株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	6,133,015株	2020年3月期1Q	6,375,181株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(追加情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によりインバウンド需要の消失や行動自粛が長期間に亘り個人消費が減速傾向となり、景気は下振れしております。また、世界経済においても新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、米国での個人消費は減少に転じたほか、欧州、中国においても行動制限や店舗閉鎖などによって消費が減速し、深刻な景気の悪化が懸念される状況となっております。

このような状況の中、当グループは前連結会計年度を初年度とする中期経営計画「KBKブレイクスルー2023」の2年目を迎え、事業環境の激変にも耐え得るよう事業ポートフォリオの最適化に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、電子・制御システム関連部門がロシアでのリチウムイオンバッテリー事業が好調に推移したものの、産業素材関連部門における樹脂・塗料事業と機械部品関連部門におけるねじ関連事業が新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響から低調に推移したことから、売上高は前年同期に比べ9億74百万円減少し、129億64百万円となり、売上総利益も前年同期に比べ2億9百万円減少の17億2百万円となりました。営業利益は販売費及び一般管理費が1億25百万円減少したものの売上総利益の減少が響き前年同期に比べ84百万円減少の86百万円の損失となりました。経常利益につきましては、持分法による投資利益が高い水準を維持しているものの、新型コロナウイルスの影響による新興国通貨急落を受けた為替差損などにより、前年同期に比べ1億33百万円減少し、35百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損の計上などにより前年同期に比べ94百万円減少し、3百万円の利益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 基幹産業関連部門

資源開発機器事業と検査装置事業においては堅調に推移したことなどから売上高は前年同期に比べ1億30百万円増加の29億24百万円となりましたが、重電設備事業において新型コロナウイルスの影響で輸出案件が遅延するなどによりセグメント利益は7百万円減少の2億34百万円の損失と増収減益の結果となりました。

#### 電子・制御システム関連部門

電子機器事業において半導体関連品が好調に推移し、またヨーロッパ現地法人におけるEVバス向けリチウムイオンバッテリー関連事業が好調に推移したことから売上高は前年同期に比べ6億1百万円増加の42億63百万円となり、セグメント利益は90百万円増加の1億58百万円と増収増益となりました。

#### 産業素材関連部門

樹脂・塗料事業における自動車業界向け塗料が、新型コロナウイルスの世界的感染拡大により影響が出始め、国内及び海外で大きく落ち込んだことから売上高は前年同期に比べ11億56百万円減少の27億39百万円となり、セグメント利益は62百万円減少の4百万円と減収減益となりました。

#### 機械部品関連部門

当部門の主力事業であるエトー株式会社のねじ関連事業が米中貿易摩擦の収束しない中、新型コロナウイルスの感染拡大により産業機械や建設機械の製造ライン休止や操業時間短縮が相次ぎ大きく落ち込んだことから売上高は前年同期に比べ5億49百万円減少の30億36百万円となり、セグメント利益は1億6百万円減少の14百万円の損失と減収減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当グループの当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ36億33百万円減少し、442億53百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券が5億1百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が29億46百万円、現金・預金が5億29百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ30億88百万円減少し、226億58百万円となりました。その主な要因は、その他流動負債が1億43百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が30億98百万円、前受金が1億31百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5億45百万円減少し、215億94百万円となりました。その主な要因は、前連結会計年度末に比べ投資有価証券の時価上昇に伴うその他有価証券評価差額金の3億27百万円の増加及び、親会社株主に帰属する四半期純利益3百万円を計上した一方、為替換算調整勘定5億13百万円の減少、配当金の支払い3億67百万円を実施したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、企業活動の停滞や企業の事業環境変化に伴う設備投資への影響が不確定であるため、現時点で合理的な業績予想の算定が困難な状況のため、引き続き未定とさせていただきます。

今後、合理的な連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,571	9,042
受取手形及び売掛金	17,674	14,727
商品及び製品	3,949	3,827
仕掛品	1,011	1,025
原材料及び貯蔵品	263	268
前渡金	2,109	1,887
その他	1,326	997
貸倒引当金	△18	△22
流動資産合計	35,887	31,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,836	1,850
減価償却累計額	△1,218	△1,233
建物及び構築物(純額)	617	616
機械装置及び運搬具	600	602
減価償却累計額	△477	△480
機械装置及び運搬具(純額)	123	122
工具、器具及び備品	1,082	1,084
減価償却累計額	△964	△971
工具、器具及び備品(純額)	117	112
土地	1,247	1,247
リース資産	142	123
減価償却累計額	△61	△51
リース資産(純額)	80	72
使用権資産	214	181
減価償却累計額	△103	△26
使用権資産(純額)	110	155
建設仮勘定	105	119
有形固定資産合計	2,402	2,445
無形固定資産		
のれん	56	51
リース資産	5	4
その他	333	333
無形固定資産合計	395	390
投資その他の資産		
投資有価証券	6,957	7,458
長期貸付金	27	26
その他	2,229	2,196
貸倒引当金	△13	△18
投資その他の資産合計	9,200	9,662
固定資産合計	11,998	12,498
資産合計	47,886	44,253

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,027	11,929
短期借入金	3,285	3,281
1年内償還予定の社債	237	237
リース債務	111	124
未払法人税等	179	98
前受金	2,610	2,478
賞与引当金	304	193
その他	704	932
流動負債合計	22,459	19,276
固定負債		
社債	475	475
長期借入金	786	785
リース債務	93	114
長期未払金	37	34
繰延税金負債	383	460
退職給付に係る負債	1,500	1,500
資産除去債務	11	11
固定負債合計	3,287	3,382
負債合計	25,746	22,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,496	5,496
資本剰余金	7,942	7,942
利益剰余金	9,133	8,769
自己株式	△730	△730
株主資本合計	21,841	21,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465	793
繰延ヘッジ損益	1	4
為替換算調整勘定	△91	△604
退職給付に係る調整累計額	△77	△75
その他の包括利益累計額合計	298	117
純資産合計	22,139	21,594
負債純資産合計	47,886	44,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	13,938	12,964
売上原価	12,026	11,261
売上総利益	1,912	1,702
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	809	813
従業員賞与	26	16
賞与引当金繰入額	116	116
退職給付費用	66	50
減価償却費	53	57
貸倒引当金繰入額	△4	8
その他	845	725
販売費及び一般管理費合計	1,914	1,788
営業損失(△)	△1	△86
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	63	37
持分法による投資利益	119	168
その他	19	20
営業外収益合計	211	233
営業外費用		
支払利息	6	9
為替差損	18	91
支払手数料	9	—
その他	6	11
営業外費用合計	41	112
経常利益	168	35
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	42
特別損失合計	—	42
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	168	△7
法人税、住民税及び事業税	44	40
法人税等調整額	25	△51
法人税等合計	70	△11
四半期純利益	98	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	98	3

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	98	3
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106	327
繰延ヘッジ損益	△13	2
為替換算調整勘定	108	△405
退職給付に係る調整額	9	2
持分法適用会社に対する持分相当額	47	△107
その他の包括利益合計	45	△181
四半期包括利益	144	△177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144	△177

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基幹産業 関連部門	電子・制御 システム 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,794	3,662	3,895	3,585	13,938	—	13,938
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	10	160	70	252	△252	—
計	2,806	3,672	4,056	3,656	14,191	△252	13,938
セグメント利益又は損失(△)	△226	67	66	91	△1	△0	△1

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△0百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が低いため、注記を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基幹産業 関連部門	電子・制御 システム 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,924	4,263	2,739	3,036	12,964	—	12,964
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	31	88	68	249	△249	—
計	2,984	4,294	2,828	3,105	13,213	△249	12,964
セグメント利益又は損失(△)	△234	158	4	△14	△86	0	△86

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が低いため、注記を省略しております。

各報告セグメントに属する主な取扱商品・サービスは以下のとおりです。

セグメントの名称	主な取扱商品またはサービスの内容
基幹産業関連部門	鉄鋼、非鉄、自動車、化学、造船、プラントエンジニアリングなどの関連機械装置、電気機械設備、検査装置、石油掘削関連機器、石油・天然ガス探鉱技術サービスなどの資源開発機器を販売
電子・制御システム関連部門	電子機器、電子部品及びソフトウェア、計装制御システム、振動計、画像処理装置、航空機搭載電子機器、地上支援電子機器、航空機用機材、航法装置、リチウムイオン電池などを販売
産業素材関連部門	複合材料製造設備、繊維加工機械、食肉加工機、樹脂加工機械、塗装設備、測定・分析装置、食品用副資材、樹脂、塗料、建設用資材、合成複合材料、鋳鍛造品、不織布製品などを販売
機械部品関連部門	定荷重ばね、ぜんまい、ステンレス製各種ばね類、ねじ鉚螺その他工具、ねじ関連機械器具などを販売

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や少なくとも2020年9月期までは感染拡大が続くとした収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。